

小児感染症の第39週(平成24年9月24日から平成24年9月30日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

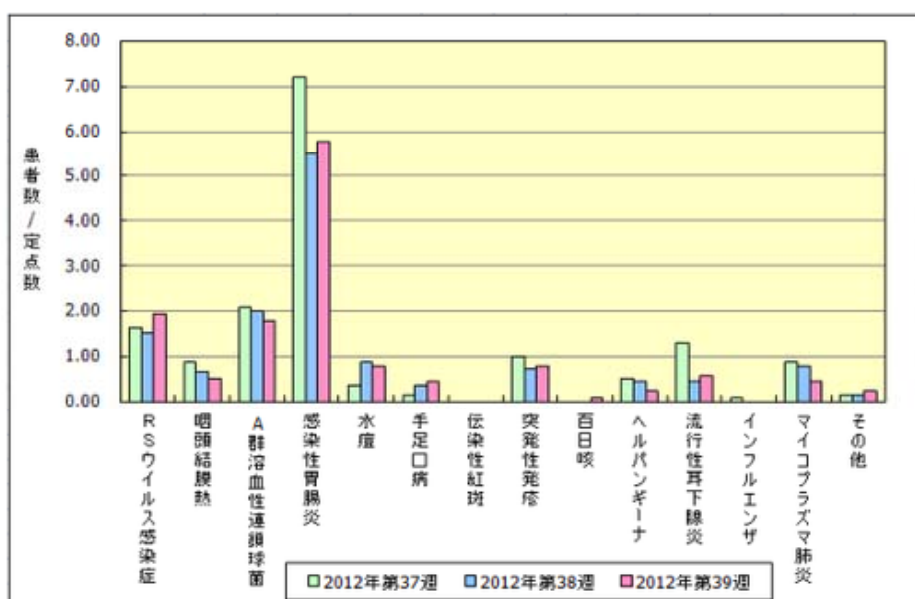
○RSウイルス感染症が、定点あたり1.9と、さらに高い値となっています。

東京都全体では、第38週に定点あたり1.31となり、先週に引き続き高い値となっています。

感染拡大予防には、手洗い・咳エチケットが有効です。また、重症化予防のために、

早期受診を心掛けてください。

○感染性胃腸炎は、全体では定点あたり5.8ですが、中央北部は13.8と突出しています。



第39週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年				
	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	4→	7↑	11↑	23↑	21↓	27↑	9	12	5	1
咽頭結膜熱	11↑	5↓	5→	12↑	9↓	7↓	1	0	6	0
A群溶血性連鎖球菌	8↓	15↑	13↓	29↑	28↓	25↓	9	5	8	3
感染性胃腸炎	50↑	69↑	75↑	101↑	77↓	81↑	55	7	15	4
水痘	13↑	7↓	14↑	5↓	12↑	11↓	1	5	2	3
手足口病	1↓	3↑	3→	2↓	5↑	6↑	0	0	6	0
伝染性紅斑	1↓	0↓	1↑	0↓	0→	0→	0	0	0	0
突発性発疹	6↑	11↑	11→	14↑	10↓	11↑	2	2	3	4
百日咳	1→	0↓	1↑	0↓	0→	1↑	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	25↑	14↓	12↓	7↓	6↓	3↓	1	0	1	1
流行性耳下腺炎	4↓	8↑	9↑	18↑	6↓	8↑	1	5	1	1
インフルエンザ	0→	3↑	0↓	1↑	0↓	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3↓	10↑	7↓	12↑	11↓	6↓	0	4	1	1
その他	5↑	6↑	5↓	2↓	2→	3↑	0	0	3	0

第39週疾患毎発生状況表

第38週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	13	0	1	9	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
1歳	4	1	0	10	3	1	0	7	0	1	0	0	0	0
2歳	0	1	2	8	1	1	0	1	0	2	2	0	1	0
3歳	1	2	0	5	1	1	0	1	0	2	1	0	0	1
4歳	1	0	8	7	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
5歳	0	4	7	9	3	1	0	0	0	1	1	0	3	0
6歳	0	0	6	7	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0
7歳	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8歳	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9歳	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
10～14歳	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	21	9	28	77	12	5	0	10	0	6	6	0	11	2

第39週年齢別発生状況表

#### 地区ブロックの分け方

- 中央・北部  
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部  
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部  
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野  
由井事務所